EG1511T

e Concept
For All Drivers from MIRAREED

eco Glider GT+ PLUS

Range Extender for HYBRID

エコグライダーGT+ 取扱説明書

2015.05.27
Revision:03

この度は、本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本書には取付け方法、取扱い方法が説明されております。
正しくご使用いただく為に本書をよくお読みの上、ご使用ください。
また、読み終えた後、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

ご使用前に

●本取扱説明書は、本製品を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人の損害を未然に防ぐために、守っていただきたい事項が記載されております。
●本製品の取付け作業を行う前に、必ず梱包内容一覧を確認し異品や欠品がないかを確認してから取付け作業依頼をしてください。万一、相違がある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
●紛失部品のご注文は、お買い上げ販売店にお問い合わせください。
●本製品をご購入の際には必ず販売店に購入日と販売店名が付属の保証書に記入してあるかどうか確認してください。記載漏れがある場合は、保証期間内であっても、弊社保証規定に基づく保証が受けられない場合があります。
●本製品の仕様は、付属品も含め改良のために予告なく変更する場合があります。
●本製品は純正の電子スロットルの信号を制御し、実際のスロットル踏み込み量より値を増減させることで体感的なパワーを得ることが出来ますが、実際にエンジンの出力が向上するものではありません。

⚠ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為、誤った取扱いをすると生じる恐れのある内容を「警告」・「注意」の2つに分けてあります。

警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を被る可能性があります。

注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠警告

●本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
●本製品が万一破損、故障した場合はすぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の車両故障の原因となります。
●本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電故障の原因となります。
●本製品を当社指定の適合車種以外の車には使用しないでください。火災や故障の原因となります。
●本製品は、車両純正電子スロットルを制御するものです。誤った配線や接続を行うと車両側に致命的な問題が発生する恐れがあり、事故の原因にもなりますので、取付けは専門業者に依頼することをお勧めします。
●本製品と、他のOBDⅡに接続する機器を分岐接続して同時に使用しないでください。誤作動を起こし事故、故障に繋がる恐れがあります。

⚠注意

●本製品はご購入日より1年間の保証がついています。(ただし、固定用ネジ・配線固定用結束バンド等の消耗品は、保証の対象になりません)※ネット販売の場合は、商品発送日より1年保証となります。
●保証書には必ず「販売店名」「購入日」が記入されているか記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
●本製品を取付け固定後の取付け場所の移動等はしないでください。故障や誤作動の原因となります。
●取付け・取扱説明書内のイラスト等は、製品と一部異なる場合があります。
●運転者は運転中に本製品の設定操作を行わないでください。事故の原因となります。
●本製品の誤った使い方によって生じた故障や障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●走行中のスイッチ部の注視は重大な事故に繋がる恐れがありますので行わないでください。
●車検にお車を出す際は、OBDⅡハーネス部を外してください。

梱包内容一覧

本体×1

コントローラ×1

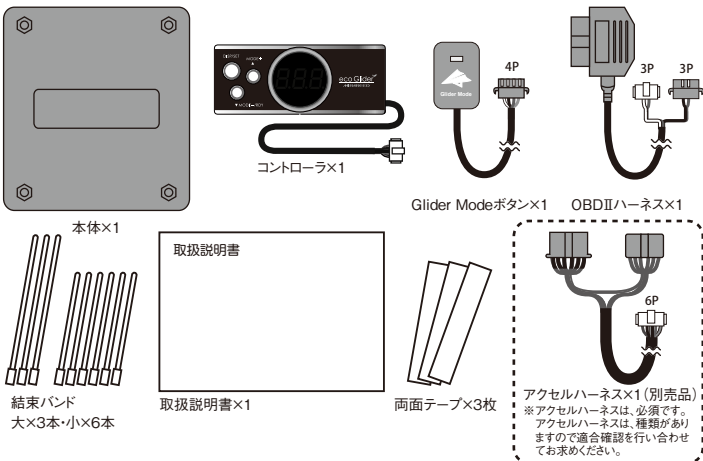
Glider Modeボタン×1

OBDⅡハーネス×1

結束バンド
大×3本・小×6本

取扱説明書×1

両面テープ×3枚

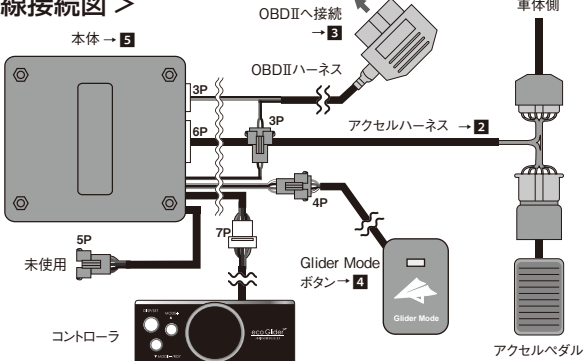
アクセルハーネス×1(別売品)
※アクセルハーネスは、必須です。
アクセルハーネスは、種類がありますので適合確認を行い合わせてお求めください。

各自用意するもの

●作業用ゴム手袋
(静電気防止のため)
●ニッパーやハサミなど結束バンドを切るモノ
●プラスドライバーなど
●内装パネル等取外し工具類

取付方法

⚠注意

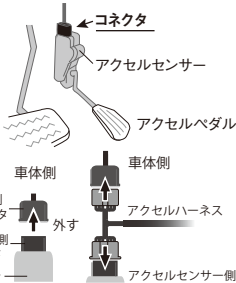
●取付けには専門知識が必要です。
専門業者などに依頼し、取付けを行って頂くことをお勧めします。
●電子スロットル制御に関わる部分ですので、接続位置や接触には十分に注意し取付けを行ってください。
●水が直接かかる場所や、高温になる場所には取付けないでください。
火災、感電、故障の原因となります。
●アクセルコネクタの取外しは、イグニッションキーをOFF後20分以上経過してから行ってください。
●コネクタを外すとき、ハーネスを引っ張らないでください。
必ずコネクタ部分を持って取外してください。
●配線取付けは、必ずバッテリのマイナス端子を外して行ってください。
火災、感電、故障の原因となります。
●取付けの際は本体をしっかり固定し、配線をまとめて固定して、運転操作の妨げにならないようにしてください。

＜配線接続図＞

1 バッテリのマイナス端子を外す

配線取付けは、必ずバッテリのマイナス端子を外してから行ってください。

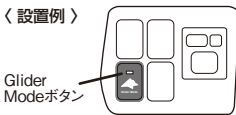
2 アクセルハーネスの接続

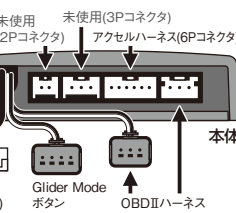
①アクセルセンサー及びコネクタの位置を確認
アクセルセンサーは、運転席足元、アクセルペダル根本付近にあります。その上部にコネクタがあります。

②アクセルハーネスを取付ける
アクセルセンサーのコネクタを取外し、センサー側、車両側のコネクタそれぞれにハーネスを取付けてください。

3 OBDⅡの接続

運転席足元右側にOBDⅡの差し込み口があるので、OBDⅡハーネスを差し込んでください。
※プリウス30系の場合、ボンネットスイッチの左側にあります。
※車種によりOBDⅡの差し込み口は異なります。

4 Glider Mode ボタンの取付け

運転席正面右側などにあるスペアスイッチホールカバーを外してください。
配線を通し、外からGlider Modeボタンをはめ込んでください。

5 本体への接続

アクセルハーネス、OBDⅡハーネス、Glider Modeボタンをそれぞれ本体にしっかりと差し込んでください。
※各コネクタの形状は異なりますので、向きに気を付けて差し込んでください。

6 バッテリのマイナス端子を繋ぐ

バッテリのマイナス端子を繋いだ後、動作確認を行ってください。

7 本体の設置

本体は両面テープなどでしっかりと固定し、走行中に外れないようにしてください。
※両面テープを使用する場合は、貼付部の埃などを取除いたうえで脱脂クロスなどで脱脂を行ってから貼付けてください。
※配線は結束バンドなどでまとめて固定し、運転の妨げにならないようにしてください。

アクセル開度設定 / バージョン表示

⚠注意

●アクセル開度設定は、基本的には行わなくても構いません。本製品を取付後にエンジンチェックランプが点灯する場合のみに設定ください。
●初期設定を行うときは、エアコン、オーディオ等電装機器をすべてOFFにして行ってください。これを行わないと正しい設定が行えず、動作が不安定になる恐れがあります。

アクセル開度設定方法

①ブレーキを踏まずに、お車のPOWERボタンを2回押しイグニッション状態にします。(エンジンはかけません。)
本製品のコントローラが起動します。

ブレーキを踏まずにPOWERボタンを2回押しイグニッション状態に

②コントローラの「DISP/SET」ボタン(以後、SETボタン)を長押しして、設定モードにします。
※走行中は、設定出来ません。必ず停車時に行うこと。
※ディスプレイに「Ain」表示の時、何のボタンも押さずに30秒以上経過すると、通常モードに戻ります。

コントローラ
SETボタンを長押し

③ディスプレイに A in (Ain)と表示されたら、SETボタンを押すと、アクセル開度設定になります。

ディスプレイ部
SETボタンを押す

④ディスプレイに ALO (ALO)と表示され3回点滅し、電圧、1.60 前後が表示されるので、アクセルを踏まないでSETボタンを押してください。
※車種により、電圧の数値は異なります。

ALOの表示が3回点滅

電圧、1.60前後を表示
SETボタンを押す

⑤ディスプレイに AHi (AHi)と表示され3回点滅し、電圧がディスプレイに表示されるので、アクセルを床まで踏込んでSETボタンを押してください。

AHiの表示が3回点滅
SETボタンを押す

⑥ディスプレイは、A in (Ain)表示に戻るのでSETボタンを長押しして通常モードに戻ってください。
※この時、SETボタンを短く押すと④に戻ります。ご注意ください。

Ainが表示
SETボタンを長押し

⑦ブレーキを踏んで、お車のPOWERボタンを押し、システム(エンジン)をスタートさせてください。

ブレーキを踏んでPOWERボタンを押しシステム(エンジン)開始

⑧アクセルを何度か踏込んで問題なくエンジンが反応することを確認してください。

※初期設定がうまくいかない場合は、もう一度操作方法をよく読み、最初からやり直してください。

バージョン表示方法

●コントローラの「DISP/SET」ボタン(以後、SETボタン)を長押しすると、A in (Ain)と表示され、設定モードになります。
※お車が動いている時は設定出来ません。

コントローラ ディスプレイ部
DISP/SETボタンを長押し

●コントローラの▲ボタンや、▼ボタンを押して、ディスプレイに VEr (VEr)と表示されたらSETボタンを押すと、バージョンが 1.00 など数字で表示されます。
※機種によりバージョンの数字が異なります。

ディスプレイ部
▲ボタンや、▼ボタンを押す
ディスプレイ部
SETボタンを長押し

●通常モードに戻るには、SETボタンを長押ししてください。

スロットルコントローラ機能

プリウス、ヴォクシーなど車側に「PWR」ボタンの有る車種の場合

車側のPWRボタンなどと連動する新発想スロットルコントローラ機能

●スロットルコントローラとは、電子制御スロットルを搭載したお車のアクセルレスポンスを制御する電子パーツです。電子制御スロットル車は、燃費改善を優先するようにコンピューター制御されている場合も多く、「スムーズに発進・加速しない」、「車が遅く感じる」といった印象を受け、ストレスを感じることがあります。そのレスポンスをコントロールできるのが、スロットルコントローラ機能です。発進時のアクセルレスポンスをアップさせ、まるで排気量アップをしたかのような加速感が得られます。
●本製品のGlider Modeボタン(以後GMボタン)をONにすることで、スロットルコントローラ機能が働き、踏み込んだ量(アクセル開度)と、出力量(スロットル開度)を制御します。
●車側のPWRボタンやECOボタンと、GMボタンが連動して走りが変わる新発想のスロットルコントローラです。シチュエーションに合わせてお好みで各モードをお選びください。

Glider Modeボタン(GMボタン)　車側のPWRボタン　車側のECOボタン

●目安として以下の順でパワフルなレスポンスです。
①GMボタンON+PWRボタンON
②GMボタンON+ノーマル
③GMボタンON+ECOボタンON
※コントロールでのモード操作は行えませんが、ディスプレイにどのモードを選択しているか表示されます。

① 走る喜びを呼び覚ます最もパワフルなスポーツモード

② パワフルな走りを楽しめるストリートモード

③ エアコンなどはECOモード、走りはノーマルに近いモード

ディスプレイの表示内容

モード名	表示	表示内容
スポーツモード	SPt	SPt
ストリートモード	Str	Str
エコモード	ECO	ECO

Glider ModeボタンのLED表示

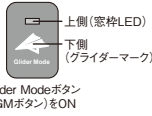
上側(窓枠)	下側(グライダーマーク)	状態
消灯	点灯	OFF、スロットルコントローラ制御無効状態
点灯	点灯	ON、スロットルコントローラ制御有効状態

アクアなど車側に「PWR」ボタンの無い車種の場合

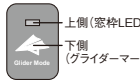
コントローラによる簡単操作で走りが激変!

●本製品のGlider Modeボタン(以後GMボタン)をONの状態にして、GMボタン上側LEDを点灯させてください。
※OFFの状態の時は、スロットルコントローラ機能は働きません。

Glider Modeボタン(GMボタン)をON

●コントローラの「MODE+ ▲ボタン」や、「▼MODE－/RDYボタン」を押して、キビキビとした走りの「Str：ストリートモード」→パワフルな走りの「SPt：スポーツモード」→走りの喜びを呼び覚ます「rCE：レースモード」の3モードのスロットルコントロール機能が選択できます。
各モードを選択することで、スロットルコントローラ機能が働き、踏み込んだ量(アクセル開度)と、出力量(スロットル開度)を制御します。シチュエーションに合わせてお好みで各モードをお選びください。
※アクアなど車側にPWRボタンの無い車種の場合、車側の「ECOボタン」と、スロットルコントローラ機能は、連動しません。

ディスプレイの表示内容

モード名	表示	表示内容
ストリートモード	Str	Str
スポーツモード	SPt	SPt
レースモード	rCE	rCE

Glider ModeボタンのLED表示

上側(窓枠)	下側(グライダーマーク)	状態
消灯	点灯	OFF、スロットルコントローラ制御無効状態
点灯	点灯	ON、スロットルコントローラ制御有効状態

⚠警告

●走行中にモードの変更を行わないようにしてください。アクセル感覚が急激に変わり重大な事故に繋がる恐れがあります。
●本製品は、体感的なパワーを得ることは出来ますが、エンジン出力が向上するものではありません。